

## 集会案内

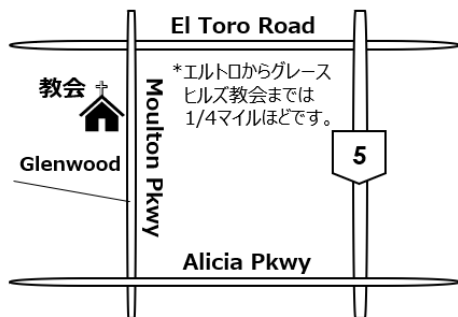
日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

## 地図



ホームページ

[www.irvinihongokyokai.org](http://www.irvinihongokyokai.org)

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話(714)527-1456

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「聴覚障害のある医師・今川竜二」②

大学卒業後に研修医になって感じたのは、コミュニケーションがうまくとれないことの苦しさだった。それで一旦、臨床の現場を離れて、医学書専門出版社に就職。そこで絵を見ればパッと分かるように工夫した本を出版し、看護学生のバイブルと言われるほどの評判になった。しかし一年後に、自分には人と接することが合っていると思い直し臨床に戻った。コミュニケーションは大変だが、人と接することで得られるものも多いと感じるようになったからである。東大病院に入院したものの、多くのスタッフが居るために自分の居所がなく、もともと役に立ってる場所がないかと考えた末、医師不足に悩む病院に移ることにした。二〇一七年十月から現在の尾鷲病院に勤めることになった。医師不足の中、自分で全部しないといけないので、それがやる気を起こさせた。

ピンチは二〇一九年一月にきた。インフルエンザが流行しマスクが配られた。それでは相手の唇の動きで言葉を読み取ることができない。そこで感染の危険がないと判断したらマスクを外してもらい、リスクがある場合は筆談に切り替えた。翌二〇二〇年にはコロナの蔓延が始まり、マスク着用が義務化された。コミュニケーションはさらに困難となり、筆談でのやり取りが増えた。今川医師が尾鷲病院に来た時には、多くの不安があったが、今はスタッフのほうから懸命に自分の思いを伝えようとしてくれる。手話を一から覚えてくれた看護師もいる。互いが寄り添えばきつとうまくいくと思っているからだ。彼は「境遇を選ぶことはできないが生き方を選ぶことはできる」と信じて生きている。

人は神に従うより自分の判断に従って生きてきた。人類の祖アダムは、エデンの園で「善悪を知る木から取って食べてはならない。それを取って食べると、きつと死ぬであろう」（創世記二・17）と神から命じられていたが、それがいかにも美味しそうで、魅力あふれ、賢くなりそうなので食べてしまった。それが人間の選択だった。だがそれは死を意味した。その壁に挑んだのが主イエスであり、人類の一切の不従順さを背負い、自ら進んで十字架について下さったのである。そこで主は私の身代わりとなって下さったと信じる時、永遠に生きるという道が私たちに開かれたのである。生き方は選ぶことができるからだ。

Rev. Tsukasa Sugimura

## 「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

## 「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。